

大腸癌研究会プロジェクト
『pT1 大腸癌のリンパ節転移の国際共同研究』
第 1 回会議 議事録

平成 28 年 6 月 30 日

グランフロント大阪コンベンションセンター room 7

■出席者

- 委員長：上野秀樹
- プロジェクトアドバイザー 兼国際共同研究の研究責任者：杉原健一
- 委員：味岡洋一、池松弘朗、石井直樹、石黒めぐみ、岡 志郎、金光幸秀、河内 洋、小嶋基寛、小林宏寿（代理出席：川上雅代）、斎藤 豊（代理出席：山田真善）、島崎英幸（欠席）、関根茂樹、高松 学、田中信治、山野泰穂（代理出席：松下弘雄）、渡邊聡明【50 音順】
- 事務局：梶原由規、末山貴浩、渡邊智記、山寺勝人
- オブザーバー：新潟大（大内彬弘、Korita Pavel）、広島大（二宮悠樹）、岩手医科大（上杉憲幸）、神奈川県立がんセンター（樋口晃生）、杏林大（松岡弘芳）、順天堂大（坂本一博、河野眞吾、盧 尚志）、山形県立中央病院（佐藤敏彦、須藤 剛）

■会議内容

1. プロジェクトの概要説明

事務局から、本研究における 2 つの国際共同研究について、その背景、目的、研究内容、研究スケジュール等に関する説明をおこなった。

研究 1（日米共同） pT1 大腸癌における「内視鏡摘除後の追加治療の適応基準（大腸癌治療ガイドライン）」の検証とリンパ節転移リスク算出 tool の作成

研究 2（日英共同） pT1 大腸癌のリンパ節転移のリスク因子に関する研究（Formula One Study）

2. 研究 2 に関する日英合同会議(2016.5.14)の報告

事務局から、日英合同会議の論点および合意事項について説明をおこなった。

3. 検討事項

(1) 研究 1：症例集積について

2009 年版ガイドラインが発刊された 2009 年 6 月以降の症例を集積することとした。集積対象期間および収集データ項目について、岡委員に案を作成いただき、後日、委員にアンケートを行うこととなった。

(2) 研究 2：デジタルスライド作成および評価について

デジタルスライドのフォーマットや必要なスペックを英国に確認し、デジタルスライド作成の可否について後日施設アンケートを行うこととした。デジタルスライドの評価に関して、inter observer 評価を行うことを決定し、時期および事前の目合わせの有無については継続審議課題とした。

(3) 研究 2：内視鏡的所見の取扱いについて

英国側では内視鏡データを収集できないことから、プロトコールでは腫瘍径、肉眼型等を病理組織標本で判定することにした（2016.5.14 合意事項）が、その妥当性を評価するために、本邦の症例のみで内視鏡的所見と病理所見を対比することが提案された。また、英国での病理標本作成方法について確認することとした。

4. 今後の予定

次回の委員会までに、両研究の研究計画書を完成させ、大腸癌研究会の IRB で承認を得る。